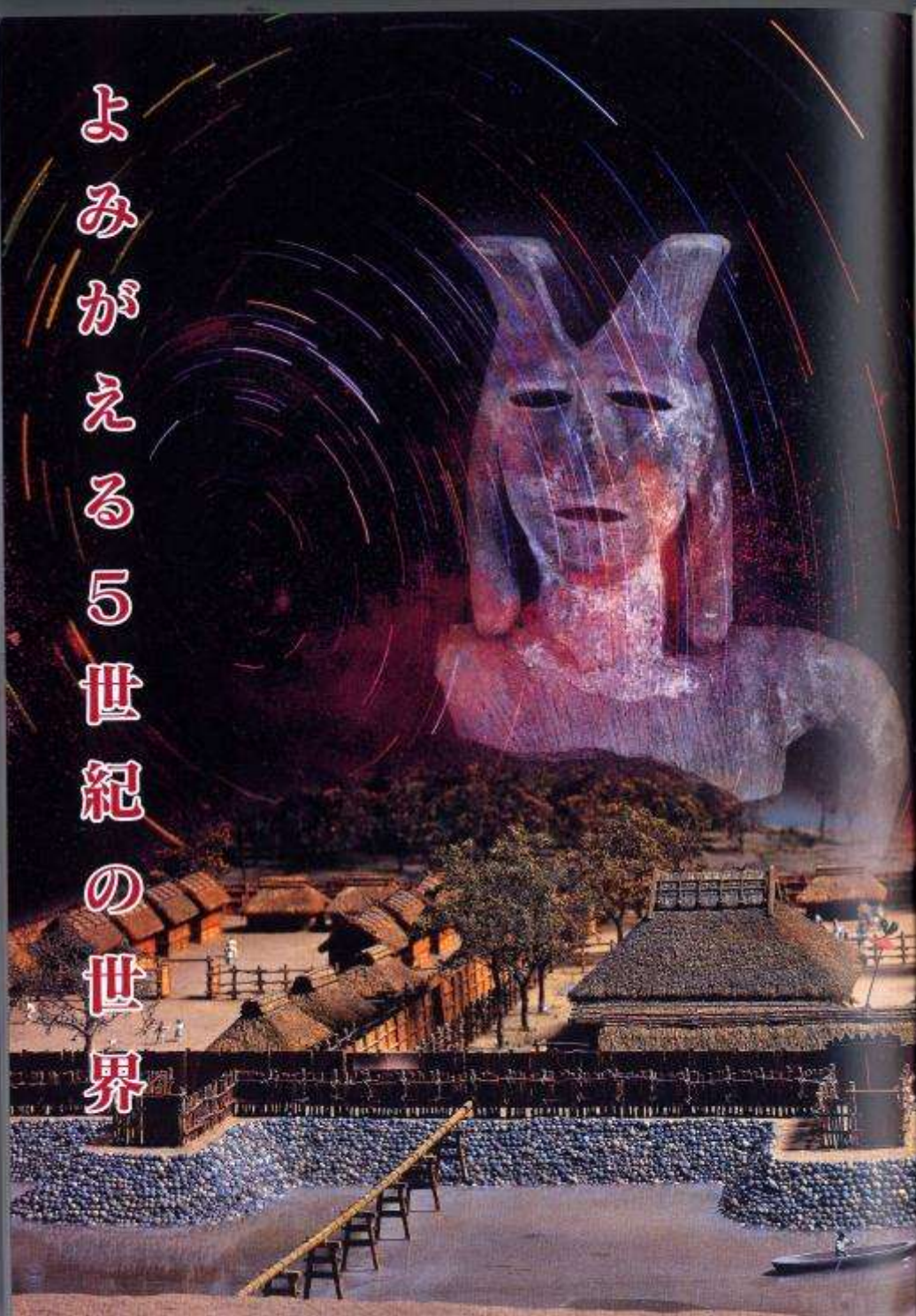


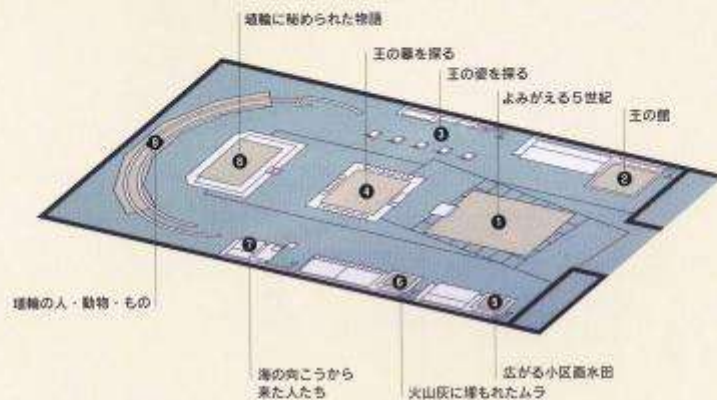
よみがえる5世紀の世界



目次 CONTENTS

■ 倭名山大噴火	6
■ 5世紀の社会を探る	8
■ 王の館	12
■ 王の墓を探る	20
■ 広がる小田原水田	33
■ 火山灰に埋もれたムラ	38
■ 海の向こうから来た人々	47
■ 埴輪に秘められた物語	52
■ 埴輪の人・動物・もの	56
■ 王の墓を探る	59
■ ニツギ一連の王に迫る・データファイル	60
■ 施設インフォメーション	76

■ 常設展示室は以下の9コーナーで構成しています。



かみつけの里博物館に ようこそ

かみつけの里博物館は、高崎市はか七市町村（高崎市・安中市・群馬町・倭名町・箕郷町・倉前村・松井田町）の広域施設として、一九九八年に設立された考古博物館です。当館は、五世紀後半に築かれた「倭名古墳群（国史跡）」を核とする「土毛野」に「わの里公園」の一画にあり、史跡と合わせて地域学習の拠点として機能します。同時に、倭名古墳群を生み出した社会を、豊富な周辺遺跡群と関連づけて説明し、倭名山麓の古代文化を日本史の中に、東アジア史の中に位置づける展示を目指しています。

倭名山の出土物でハッキングされた遺跡には、これまでにない多くの情報が残されています。それをもとに復元されたビジュアルな模型群や、仕切のないオープンな展示手法、柔軟な展示解説により、子供からお年寄りまで、古代の世界に興味を持っていただけるよう計画しました。通く一五〇〇年前に思いを馳せ、古代人の生活のたくましさ、技術の素晴らしさ、埴輪に見る彼らの心の豊かさに触れて下さい。

※ 半井町会館より、現在
は高崎市・安中市の二市。